

# 令和5年度 生駒市環境モデル都市 取組進捗状況

資料 7

## 環境がまちをつくる

省エネリフォーム・リノベーション支援

住宅省エネルギー改修工事補助（建築課）（1月末時点申請件数 4件）  
「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家所有者支援を実施（住宅政策室）（1月末時点取扱開始件数 23件、成約件数：10件（前年度以前に取扱開始したものを含む））  
戸建て住宅賃貸化促進奨励金（住宅政策室）（1月末時点交付件数 3件）

太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用

太陽光発電、HEMS、蓄電池またはV2Hの一体的な導入に補助金を交付。  
太陽光発電普及促進事業補助 1kWあたり2万円（1月末時点申請件数 25件）  
全額市民出資による市民共同発電所（第1号機～5号機）を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施

燃料電池・コージェネレーションの導入支援

家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助  
・1kWhあたり1万円（1月末時点申請件数 45件）

環境にやさしい移動手段の普及促進

市内の5箇所（市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター）に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用  
超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続（健康課）  
V2Hシステム設置補助  
・1件あたり10万円（1月末時点申請件数 2件）

家庭でのエコ取組の促進

省エネ家電等買い換え補助金を交付（補助額：購入金額の20%（上限3万円）エアコン631件17,200,000円、冷蔵庫499件14,907,000円、テレビ58件751,000円、ガス給湯器79件2,289,000円）

学校・地域への環境出前講座

市民団体・企業等との連携により、くらしのブンカサイinいこま2023をはじめとした環境啓発事業を実施（参加人数：2,300人）。市内小中学校への出前講座を実施。

住民や企業、他都市と連携した取組

「いこまSDGsアクションネットワーク」の運用を継続。（1月末時点登録団体数 101）地域におけるSDGsに繋がる事例の創発を促すため、SDGsにまつわるセミナー、マッチングイベントの開催など、会員支援の充実に取り組んだ。  
複数のSDGsゴール達成に向けて連携して事業を行う2者以上の団体にSDGs推進事業補助金を交付。（1月末時点 5件）

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環

地域新電力会社「いこま市民パワー」による公共施設及び民間事業者への電力供給を継続。（1月末時点供給先数 公共施設77施設 民間53施設）市内家庭向けの販売も継続。（1月末時点供給先数 66世帯）家庭の卒FIT電力の買取（1月末時点の申込件数134件）

各種EMS導入支援

住宅用エネルギー管理システム（HEMS）設置補助  
・1件あたり上限1万円（1月末時点申請件数 28件）

地産地消サイクル構築に向けた取組

生駒市食品ロス削減協力店制度の継続（1月末時点協力店舗数 6店舗）。  
自治会集会所等の施設を、世代を超えて楽しく集う場として、自治会・住民が主体となって運営する交流拠点「複合型コミュニティ（まちのえき）」を市内8地域で実施。  
地域の買い物や見守り支援、地域のにぎわいづくりに資することを目的とし、外出のきっかけとなるような移動販売・出張型サービスを提供する事業者・団体を地域への移動販売等サービス導入の協力店として登録し、利用者とパートナーズのマッチングを支援する「生駒市移動販売等導入支援事業」を2自治会で実証実験実施。

## 環境が経済を循環させる